



# 各家庭での水道管の凍結対策をお願いします

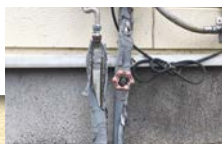
平成28年1月の大寒波からもうすぐ5年が経とうとしています。昨年度は暖冬の影響もあり、大きな被害はありませんでした。

今年は厳しい寒波が予想されますので、改めて凍結対策の確認をしておきましょう！



## 1 こんな水道管は注意！

- ◆屋外で風が直接あたる場所にある水道管
- ◆北側の日陰にある水道管
- ◆カバーが外れたむき出しの水道管や温水器の排水管



外気温がマイナス4℃以下になると、水道管が凍結・破損しやすくなります。

低温注意の予報が出た際は、**水道管の凍結対策**をお願いします。

【問合先】水道課 水道係  
☎65・3241

## 2 家庭でできる凍結対策

- ◆保温材をまく  
⇒水道管・蛇口を保温材（毛布などでも可）で包む。
- ◆少量の水を出し続ける  
⇒蛇口から少しずつ出し続ける。出した水は貯めておき再利用を。



## 3 水道管が凍結したら…

水道管の凍った部分にタオルなどをかぶせ、ぬるま湯でゆっくり時間をかけて溶かします。※熱湯を直接かけると破損を起こすので危険です。



ぬるま湯を  
ゆっくり掛ける。

## 4 漏水の確認方法



自宅のすべての蛇口を閉め、水道メーターの**パイロットマーク**が回っている場合、漏水している可能性があります。水道メーターは一般的に玄関付近の地面などに埋設されています。

## 5 水の貯め置きを

ペットボトルやふた付きポリ容器に水を貯め置き、備蓄飲料水として活用してください。また、お風呂の残り湯は、すぐに捨てずに貯めておくことで、断水時のトイレ用など生活用水として役立ちます。